

令和6年度（第7期）

# 事業報告書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

銚子電力株式会社

# 第7期事業報告書

## 銚子電力株式会社

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

### 1. 株式会社の現況に関する事項

#### (1). 事業の経過及びその成果

当該会計年度におけるわが国経済は、不安定な国際情勢の継続に伴う、エネルギーを始めとした原材料費高騰によって企業設備投資や個人消費が抑制され、経済活動の停滞がございました。また、インボイス制度の導入、容量市場制度の導入等、様々な制度改定により、国民の不安や混乱が生じておるものと捉えております。

このような事業環境において当社は、「銚子市に根差した電力会社」として、地域貢献事業の取り組み強化や組織体制の強化を行いながら、主にコスト抑制を図ってまいりました。

以上の結果、当会計年度の売上高は、1,222,571千円(予算比108.5%)となりました。

利益につきましては、粗利益 37,481千円(予算比93.1%)、営業利益 1,599千円(予算比69.0%)、経常利益 820千円(予算比43.6%)、最終利益 636千円(予算比45.1%)となり、予算未達となりました。

市場価格の高騰によって燃料調整費が予算を上回り、電力事業の売上、仕入面においては予算を上回りましたが、粗利益面では予算を下回る結果となりました。

再エネ商材販売においては、予算計上しておりませんでした。が、予算外の販売によって利益をあげております。

#### (2). 資金調達等についての状況

該当なし

#### (3). 直前3事業年度の財産及び損益の状況

	第5期	第6期	第7期
売上高(千円)	1,309,855	991,562	1,222,571
当期純利益(千円)	5,191	2,816	636
純資産額(千円)	7,577	10,394	11,030
総資産額(千円)	165,055	133,956	181,144
1株当たり当期純利益(円)	51.96	28.19	6.37

#### (4).対処すべき課題と対策

2025年度は、黒字体質の定着と更なる利益拡大を達成する重要な年度として、電力事業の利益率向上による安定収益基盤の確立を目指します。

課題別の対策は下記の通りです。

- ・契約数の増加

解約率は増加していないが申込数は減少しており、顧客の電気料金に対する関心が低下していると思われます。近隣飲食店でポスターを活用したマーケティング、及び既存顧客への紹介キャンペーン等を実施し、認知拡大、顧客獲得を目指します。

- ・電力販売単価の見直し

低圧は大手電力会社比 85～95%程度の価格であり価格競争力があるものの、高圧は依然価格競争が厳しく、粗利率も低い状況です。そのため高圧市場連動プランへの切り替えを促し、電気料金削減と粗利率向上を目指します。

- ・再エネ事業の拡大

当社は、これまで電力小売り（取次）の単独事業にて収益を得ており経営の安全面の観点から課題がありました。そのため令和7年3月に銚子市、地元金融機関、商工会議所の5社で締結した脱炭素に関する連携協定、及び令和7年に銚子市より導入された脱炭素化促進補助金を訴求し、経営リスクの分散と収益の多様化を目指します。

- ・業務体制の構築

業務の円滑な遂行にあたっては従業員の能力向上とモチベーション等の向上が重要と認識しております。OJTに加えて必要に応じてOFF-JTも活用し今後の業務遂行に必要な知識や能力の蓄積を図ります。また、経営状況に則した経営目標の設定と評価を実施し、従業員の評価・人事制度に連動させることで、従業員のモラルとモチベーションの向上につなげます。

- ・地域貢献の実施

容量市場制度導入によって電気を利用する顧客側に混乱が生じているため、地域の電力事業者としての説明責任を果たす。

(5).主要な借入先及び借入額

借入先	借入残高
銚子信用金庫	19,344 千円
銚子商工信用組合	19,344 千円

2.株式に関する事項

(1).株主の状況

①.発行済株式総数 99,900 株

②.株主の状況

	名称	持株数	持株割合
1	銚子市	49,950 株	50.0%
2	株式会社 Loop	33,966 株	34.0%
3	株式会社エックス都市研究所	9,990 株	10.0%
4	銚子信用金庫	2,997 株	3.0%
5	銚子商工信用組合	2,997 株	3.0%

3.会社役員に関する事項

(1).役員に関する事項

氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
新谷 一将	代表取締役	—
越川 信一	代表取締役	銚子市長
永井 大介	取締役	エックス都市研究所 サステイナビリティ・デザイン事業本部 新事業創出チーム リーダー
伊東 孝之	取締役	株式会社スマートドライブ 経営企画室 資本業務提携責任者
小川 朋之	取締役	株式会社 Loop 電力事業本部長
八角 貴志	監査役	銚子市 企画課 洋上風力推進室 室長

(2).取締役、監査役ごとの報酬等の総額

区分	人数	報酬等の額
取締役	5 名	1,055 万円
監査役	1 名	—

# 決算報告書

第7期

自 令和06年04月01日

至 令和07年03月31日

銚子電力株式会社

貸借対照表

令和07年03月31日 現在

銚子電力株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	179,153,423	【流動負債】	146,497,901
現金及び預金	38,184,473	買掛金	126,159,938
売掛金	140,830,132	短期借入金	12,000,000
貸倒引当金	△ 171,000	1年以内返済長期借入金	3,072,000
貯蔵品	181,241	未払費用	3,478,966
短期貸付金	100,000	預り金	159,097
仮払金	11,577	未払消費税等	1,431,800
前払費用	17,000	未払法人税等	196,100
【固定資産】	1,990,713	【固定負債】	23,616,000
無形固定資産	1,946,543	長期借入金	23,616,000
ソフトウェア	1,946,543	負債の部合計	170,113,901
投資その他の資産	44,170	純資産の部	
出資金	20,000	科目	金額
敷金	5,000	【株主資本】	11,030,235
預託金	19,170	資本金	9,990,000
		利益剰余金	1,040,235
		その他利益剰余金	1,040,235
		繰越利益剰余金	1,040,235
		(うち当期純利益)	636,038
		純資産の部合計	11,030,235
資産の部合計	181,144,136	負債・純資産の部合計	181,144,136

# 損益計算書

自 令和06年04月01日

至 令和07年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	1,222,571,047	1,222,571,047
【売上原価】		
期首商品棚卸高	106,305	
仕入高	1,185,164,162	
合計	1,185,270,467	
期末商品棚卸高	181,241	1,185,089,226
売上総利益		37,481,821
【販売費及び一般管理費】		35,882,544
営業利益		1,599,277
【営業外収益】		
受取利息	17,688	
受取配当金	400	
雑収入	4,969	23,057
【営業外費用】		
支払利息	801,504	801,504
経常利益		820,830
【特別利益】		
固定資産売却益	27,991	27,991
【特別損失】		
税引前当期純利益		848,821
法人税等		212,783
当期純利益		636,038

# 販売費及び一般管理費内訳書

自 令和06年04月01日

至 令和07年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	10,550,000	
給料賃金	6,406,738	
賞与	1,141,200	
法定福利費	1,065,199	
福利厚生費	35,335	
業務委託料	520,000	
広告宣伝費	1,525,292	
接待交際費	15,988	
旅費交通費	229,840	
通信費	1,667,859	
水道光熱費	140,727	
修繕費	130,830	
備品・消耗品費	532,844	
リース料	210,064	
地代家賃	441,111	
保険料	66,950	
租税公課	77,310	
支払手数料	8,178,274	
支払報酬	750,000	
寄付金	500,000	
減価償却費	1,426,818	
貸倒引当金繰入額	5,000	
貸倒損失	51,200	
雑費	213,965	
販売費及び一般管理費合計		35,882,544

# 株主資本等変動計算書

自 令和06年04月01日

至 令和07年03月31日

銚子電力株式会社		(単位：円)
株主資本		
資本金	当期首残高	9,990,000
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>9,990,000</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	404,197
	当期変動額	当期純利益 636,038
	当期末残高	<u>1,040,235</u>
株主資本合計		
	当期首残高	10,394,197
	当期変動額	636,038
	当期末残高	<u>11,030,235</u>
純資産の部合計		
	当期首残高	10,394,197
	当期変動額	636,038
	当期末残高	<u>11,030,235</u>

## 個別注記表

自 令和06年04月01日

至 令和07年03月31日

銚子電力株式会社

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）及び平成28年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しています。

②無形固定資産

定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について合理的基準により計上するほか個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

①消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 99,900株

(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数 0株

以上

# 監査報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第7期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和7年6月3日  
銚子電力株式会社  
監査役 八角 貴志